

FAQ

1. 事前にテーマを仮定して、小論文全体の流れを事前準備しても差し支えない、無駄にはなりませんか。
A: 差し支えなく、無駄にはなりません。「課題・解決策・創出価値評価」という考え方/プロセスの練習になります。また、全体のストーリーを考えた上で各問に回答する練習になります。ただし、試験当日に指定される課題・テーマに合わない可能性はありますが、指定される課題・テーマに沿って補整解答も可能かと思われます。
2. 「IoTを活用したテーマであること」とはどういうことですか。
A: Internet Of Thingsで価値創出しているビジネスモデルを書きなさい、という意味です。例えば、政治課題や経済問題だけを論じてもIoTテクノロジーで課題解決・価値創出していない論文は、本「IoTシステム技術検定」の採点対象にはなりません。
3. 「IoTを使った解決策」と言っても、例えば、「廃棄食材を堆肥へ転換」というような考え方のレベルから、「スマートゴミ箱に近接センサとLPWAで適時回収ルート作成」など、具体的な解決策レベルなど様々あるが、どのレベルで書けば良いのですか。
A: 解決するための考え方、改善すべき項目、評価基準をのような上位レベルと、改善すべき項目、データ収集・分析、その手法などの具体レベルの両方を問います。

FAQ

4. 回答の文字数に幅がありますが、文字数上限まで記述した方が点数が上がりますか。
- A: 下限の文字数を超えていれば、内容のみを考慮して採点しますので、下限を超えていれば文字数は関係ありません。文字数の幅は、回答者が文字数制限を気にする余地、実力が発揮できない事が無いようにするためです。
5. 3つの課題/テーマ以外を回答した場合はどうなりますか。
- A: 基本的に採点対象となりません。3つの課題/テーマから選んで回答してください。
6. 検討しているサービスでは、完全な自動化が現在は不可能であり、人の介在が必須です。この様なものを、IoTとして回答しても良いですか。
- A: 人が介在する場合も、IoTシステムの対象としています。但し、介在する人に求める内容がその都度異なる様な場合はこの検定で問うIoTとは考え難いと言えます。